



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月9日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 22,404 | 8.8 | 1,278 | 13.7 | 1,308 | △39.0 | 869 | △49.8 |
| 27年3月期第3四半期 | 20,589 | △3.3 | 1,124 | △27.2 | 2,145 | 11.6 | 1,730 | 28.9 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 455百万円 (△57.8%) 27年3月期第3四半期 1,079百万円 (△55.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 32.22 | 32.21 |
| 27年3月期第3四半期 | 64.13 | — |

(注) 27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 41,271 | 29,372 | 71.2 | 1,088.76 |
| 27年3月期 | 42,511 | 29,427 | 69.2 | 1,090.80 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 29,370百万円 27年3月期 29,427百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 8.50 | — | 10.50 | 19.00 |
| 28年3月期 | — | 8.50 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 8.50 | 17.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 31,200 | 11.8 | 1,900 | 47.9 | 2,000 | △7.7 | 1,400 | △5.8 | 51.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期3Q | 29,662,851株 | 27年3月期 | 29,662,851株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 2,684,803株 | 27年3月期 | 2,684,669株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期3Q | 26,978,140株 | 27年3月期3Q | 26,978,515株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費を中心に堅調に推移しており、欧州でも個人消費や設備投資の増加により、景気の持ち直し傾向が続きました。また、国内経済は、円安・原油安等による企業業績の改善を背景に、緩やかな回復基調を持続いたしましたが、世界的な金融市場の不安定さを受け、景気の先行きに不透明感を増してまいりました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場では、北米地域はカジノフロアへの設備投資が減少傾向にありましたが、東南アジア地域への市場拡大がみられるなど、総じて堅調でありました。また、コマーシャル市場では、海外金融市場向けを中心に需要が堅調でありましたが、日本国内を対象とする遊技場向機器市場は、市場全体の先行きの不透明さが払拭されず、設備投資の需要は低調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、買収したプリンター事業を既存事業と一体運営し、双方の強みを融合させることで顧客層の拡大を目指すとともに、外貨両替機に代表される新製品の受注拡大にも取り組み、マーケットシェアの拡大と新規需要の確保に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前述のプリンター事業による売上計上もあり、224億4千万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。営業利益は、欧州におけるユーロ安（対米ドル）に伴う減益要因がありましたが、プリンター事業の買収による利益貢献もあり12億78百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。一方、前年同期に計上した為替差益が大幅に縮小したことなどから、経常利益は13億8百万円（前年同四半期比39.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億69百万円（前年同四半期比49.8%減）となりました。

なお、当第3四半期の為替レートは、米ドル120.90円（前年同四半期は103.26円）、ユーロは134.42円（前年同四半期は139.15円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマーシャル」「国内コマーシャル」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①グローバルゲーミング

既存の紙幣識別機ユニットの販売は、カジノゲームフロアへの設備投資が軟調であったことから減少いたしました。また、ゲーミング用プリンター製品の売上が加わったことにより、当セグメントの売上高は119億52百万円（前年同四半期比30.2%増）となり、セグメント利益は19億74百万円（前年同四半期比38.5%増）となりました。

②海外コマーシャル

欧州流通市場向けの紙幣識別機ユニットの販売は減少いたしましたが、北米地域での金融市場向けの販売が増加したことにより、当セグメントの売上高は30億61百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。しかしながら、期初からのユーロ安の影響により欧州での利益率が低下したことにより、セグメント利益は5億87百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

③国内コマーシャル

OEM顧客向けを中心とする貨幣処理機器ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は13億59百万円（前年同四半期比35.8%減）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期比88.3%減）となりました。

④遊技場向機器

パチンコホール向けの玉貸機・メダル貸機など関連設備機器の販売が減少したことにより、当セグメントの売上高は60億31百万円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期比56.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は412億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億40百万円減少いたしました。欧州地域における顧客の納期変更への対応などにより「商品及び製品」が4億73百万円増加し、また、北米地域における売上高の増加などにより「受取手形及び売掛金」が4億5百万円増加いたしました。一方、「支払手形及び買掛金」や配当金の支払いなどにより「現金及び預金」は13億23百万円減少いたしました。また、「有形固定資産」及び「無形固定資産」がそれぞれ2億11百万円、4億7百万円減少したほか、保有株式の一部売却により「投資その他の資産」が1億96百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は118億98百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が6億10百万円減少したことに加え、未払計上していた費用の支払い等により、前連結会計年度末に比べ11億85百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は293億72百万円となりました。四半期純利益8億69百万円の計上がありました。配当金の支払いや為替レートが前連結会計年度末に比べ円高に推移したことによる「為替換算調整勘定」の減少により、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益12億69百万円の資金の増加があった一方で、売上債権の増加5億32百万円、たな卸資産の増加5億45百万円、仕入債務の減少4億89百万円、法人税等の支払額4億45百万円などの資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは4億33百万円の資金の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入1億2百万円、長期貸付金の回収による収入82百万円などの資金の増加があった一方で、有形固定資産の取得による支出2億8百万円、投資有価証券の取得による支出1億円などの資金の減少がありましたので、1億79百万円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額5億12百万円、リース債務の返済による支出92百万円などの資金の減少がありましたので、5億92百万円の資金の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額1億17百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は74億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億23百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績につきましては、平成27年5月12日付決算短信の発表数値からの変更はありません。今後の需要動向の変動などにより適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成27年3月26日)を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社JCM AMERICAN CORP.(連結)が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産—のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,834,280 | 7,510,905 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,151,245 | 7,556,689 |
| 有価証券 | 6,653 | 95,863 |
| 商品及び製品 | 6,248,950 | 6,722,900 |
| 仕掛品 | 596,664 | 949,762 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,377,060 | 2,949,813 |
| その他 | 1,085,035 | 1,048,618 |
| 貸倒引当金 | △306,856 | △266,962 |
| 流動資産合計 | 26,993,034 | 26,567,592 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,365,248 | 5,153,819 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 8,019,099 | 2,670,847 |
| 技術資産 | — | 522,234 |
| 顧客関連資産 | — | 3,901,854 |
| 商標権 | — | 525,773 |
| その他 | 87,084 | 78,119 |
| 無形固定資産合計 | 8,106,183 | 7,698,831 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,099,067 | 1,904,711 |
| 貸倒引当金 | △51,563 | △53,887 |
| 投資その他の資産合計 | 2,047,503 | 1,850,824 |
| 固定資産合計 | 15,518,936 | 14,703,475 |
| 資産合計 | 42,511,971 | 41,271,068 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,728,644 | 3,118,180 |
| 短期借入金 | 5,773,440 | 5,788,800 |
| 未払法人税等 | 108,716 | 130,053 |
| 賞与引当金 | 288,359 | 132,339 |
| 役員賞与引当金 | 28,300 | 12,100 |
| その他 | 2,537,866 | 1,961,989 |
| 流動負債合計 | 12,465,326 | 11,143,463 |
| 固定負債 | | |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 67,000 | 67,000 |
| その他 | 551,891 | 687,917 |
| 固定負債合計 | 618,891 | 754,917 |
| 負債合計 | 13,084,218 | 11,898,380 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,216,945 | 2,216,945 |
| 資本剰余金 | 2,068,964 | 2,068,964 |
| 利益剰余金 | 26,669,381 | 27,026,051 |
| 自己株式 | △2,329,339 | △2,329,517 |
| 株主資本合計 | 28,625,951 | 28,982,444 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 115,562 | 148,983 |
| 為替換算調整勘定 | 686,239 | 239,137 |
| その他の包括利益累計額合計 | 801,801 | 388,120 |
| 新株予約権 | — | 2,121 |
| 純資産合計 | 29,427,753 | 29,372,687 |
| 負債純資産合計 | 42,511,971 | 41,271,068 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 20,589,543 | 22,404,666 |
| 売上原価 | 12,928,675 | 13,411,310 |
| 売上総利益 | 7,660,868 | 8,993,355 |
| 割賦販売未実現利益戻入額 | 54,188 | 61,076 |
| 割賦販売未実現利益繰入額 | 96,256 | 49,804 |
| 差引売上総利益 | 7,618,800 | 9,004,627 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,494,230 | 7,725,939 |
| 営業利益 | 1,124,569 | 1,278,687 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 27,471 | 11,442 |
| 受取配当金 | 11,444 | 16,636 |
| 持分法による投資利益 | 10,295 | 8,006 |
| 為替差益 | 1,137,715 | 6,561 |
| その他 | 51,380 | 68,794 |
| 営業外収益合計 | 1,238,307 | 111,440 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,112 | 22,315 |
| 買収関連費用 | 178,876 | — |
| リース解約損 | — | 45,337 |
| その他 | 4,276 | 13,616 |
| 営業外費用合計 | 217,264 | 81,269 |
| 経常利益 | 2,145,612 | 1,308,859 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 107 | 828 |
| 投資有価証券売却益 | — | 8,403 |
| 特別利益合計 | 107 | 9,232 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 226 |
| 固定資産除却損 | 19,018 | 5,633 |
| 投資有価証券評価損 | — | 37,657 |
| その他 | — | 4,768 |
| 特別損失合計 | 19,018 | 48,286 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,126,701 | 1,269,804 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 342,264 | 469,194 |
| 法人税等調整額 | 54,434 | △68,646 |
| 法人税等合計 | 396,698 | 400,548 |
| 四半期純利益 | 1,730,003 | 869,256 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,730,003 | 869,256 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,730,003 | 869,256 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 49,842 | 33,420 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | — |
| 為替換算調整勘定 | △702,527 | △450,830 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,993 | 3,728 |
| その他の包括利益合計 | △650,691 | △413,680 |
| 四半期包括利益 | 1,079,311 | 455,575 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,079,311 | 455,575 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,126,701 | 1,269,804 |
| 減価償却費 | 423,733 | 787,319 |
| のれん償却額 | 40,987 | 160,872 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △123,513 | △228,007 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △10,295 | △8,006 |
| 買収関連費用 | 178,876 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △38,915 | △28,078 |
| 支払利息 | 34,112 | 22,315 |
| 為替差損益(△は益) | △1,134,259 | △78,761 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 18,910 | 5,031 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △8,403 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 37,657 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △68,495 | △532,389 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,002,590 | △545,424 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △923,438 | △489,835 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 106,571 | 20,867 |
| その他 | △49,512 | △377,935 |
| 小計 | 1,584,052 | 7,026 |
| 利息及び配当金の受取額 | 38,397 | 27,560 |
| 利息の支払額 | △34,112 | △22,315 |
| 法人税等の支払額 | △275,172 | △445,777 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,313,165 | △433,505 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の純増減額(△は増加) | 81,080 | △36,173 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △390,049 | △208,837 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 553 | 4,199 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △42,286 | △17,353 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8,703 | △100,021 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 102,121 |
| 長期貸付金の回収による収入 | — | 82,114 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △7,542,421 | — |
| その他 | △20 | △5,690 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,901,847 | △179,638 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 5,500,000 | — |
| 配当金の支払額 | △445,276 | △512,784 |
| リース債務の増加による収入 | 55,177 | 13,434 |
| リース債務の返済による支出 | △168,019 | △92,788 |
| 自己株式の取得による支出 | △571 | △177 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4,941,310 | △592,316 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 143,477 | △117,914 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,503,893 | △1,323,374 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,488,719 | 8,814,280 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,984,825 | 7,490,905 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------|----------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|----------------------|
| | グローバル ゲーミング | 海外コマー シャル | 国内コマー シャル | 遊技場 向機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,180,404 | 2,683,638 | 2,118,007 | 6,607,492 | 20,589,543 | — | 20,589,543 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,180,404 | 2,683,638 | 2,118,007 | 6,607,492 | 20,589,543 | — | 20,589,543 |
| セグメント利益 | 1,425,079 | 593,699 | 274,321 | 73,117 | 2,366,218 | △1,241,648 | 1,124,569 |

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルゲーミング」セグメントにおいて、平成26年8月29日付で、米国FutureLogic Group, LLC.の全持分を取得いたしました。取得原価の配分が未了であるため暫定的な金額ではありますが、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において7,255,197千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------|----------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|----------------------|
| | グローバル ゲーミング | 海外コマー シャル | 国内コマー シャル | 遊技場 向機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,952,256 | 3,061,567 | 1,359,299 | 6,031,542 | 22,404,666 | — | 22,404,666 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,952,256 | 3,061,567 | 1,359,299 | 6,031,542 | 22,404,666 | — | 22,404,666 |
| セグメント利益 | 1,974,152 | 587,591 | 32,065 | 32,033 | 2,625,842 | △1,347,154 | 1,278,687 |

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成27年4月1日付にて「グローバルコマーシャル本部」を新設したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を見直し、報告セグメントを従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマーシャル」「国内コマーシャル」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から営業利益ベースの数値に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。